

掲示内容

冠動脈バイパス手術では、年齢、全身状態、冠動脈の解剖、グラフト特性を考慮し、手術術式が決定されます。なかでも、内胸動脈—左前下行枝は標準的なバイパスで、当院もこのようにバイパスすることを原則としています。しかしながら、その他のグラフトについては定まった見解がありません。今回、撓骨動脈をグラフトに用いた症例の病歴情報から疫学的検討を行います。既に診療記録にある情報を抽出しますので、新たに発生しうる健康被害、不利益などはございません。個人が特定されることもありません。

なお、この研究に際し、同意をいただけない方に関しては、心臓血管外科医師に申し出ください。申し出のない場合は、同意を得たものとして判断させていただきます。